

平成25年度事務事業評価の概要について

1 今年度の事務事業評価のポイント

事務事業評価については、平成21年度の事業仕分け・平成22年度の補助金見直し外部評価、平成22年度から平成24年度までの事務事業評価により、市長部局の167事業の評価が一巡したところです。

今年度から二巡目となる事務事業評価は、市長部局の163事業を対象に、前回からの指標による検証に加え、過去の評価とその後の改善状況についても複数年かけて検証することとしています。

2 経過

- 25年10月 事務事業評価シート作成、所属長による内部評価
- 25年12月 有識者による外部評価
- 26年 1月 行革本部会議にて対象事業の今後の方向性を決定

3 今年度評価対象事業

33事業（市長部局対象）

4 評価方法

- (1) 所属長による内部評価
各課において事務事業評価シートを作成し、所属長による評価。
- (2) 有識者による外部評価
今年度評価対象事業のうち、市に裁量の余地のある事業や第三者の意見を伺う必要があると判断した事業を11事業選定し、外部評価を実施。
(※外部評価者は3名)

5 今後の方向性

内部評価及び外部評価をもとに、行財政改革推進本部会議において対象事業の今後の方向性を決定しました。

	廃止	継続	見直し	重点化	合計
今後の方向性	0	27	5	1	33

上記の今後の方向性に基づき、各課において引き続き事業の改善等に努めるものとします。